

害虫抑制に活躍が期待される土着天敵類

(独)農研機構、(独)農業環境技術研究所、秋田県果樹試験場、福島県農業総合センター果樹研究所、千葉県農林総合研究センター、静岡県農林技術研究所、奈良県農業総合センター、徳島県立農林水産総合技術支援センター、高知県農業技術センター、岡山大学、宮崎大学

野菜や果樹の害虫(アザミウマ類、ハダニ類など)に対し、ヒメハナカメムシ、カブリダニ類などの土着天敵を利用して密度を低く保つ技術を開発しています。土着天敵がほ場内に維持できる環境を提供するため、天敵が定着しやすいような下草や周辺植生の管理を行うことが必要です。

1 露地ネギで利用が期待される天敵

利用を検討中の土着天敵



天敵を維持する技術



防除の対象となる害虫

ネギアザミウマとネギハモグリバエが特に問題



2 果菜類で利用が期待される天敵

利用を検討中の土着天敵



天敵を維持する技術

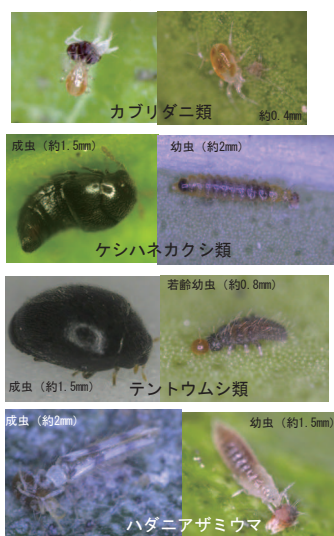


防除の対象となる害虫



3 果樹のハダニ類に対して利用が期待される天敵

利用を検討中の土着天敵



天敵を維持する技術

周辺植生管理(ヒラギモクセイ)

- ・モクセイマルハダニが発生し、それを餌に土着天敵が発生
- ・モクセイマルハダニは果樹ではほとんど増殖しない



下草管理(クローバー)

- ・ハダニの天敵などが増殖
- ・ナミハダニはクローバーで定着し樹上へ移動しない



防除の対象となる害虫

